

本部名：門川町地域学校協働本部

連絡先：門川町教育委員会社会教育課
TEL：0982-63-1140
FAX：0982-63-5349

1 活動の概要

対象学校名	門川町立門川中学校、門川小学校、草川小学校、五十鈴小学校
活動分野	学習支援活動、登下校の見守り、学校行事支援、キャリア教育支援 等
【主な取組】	数学学習支援活動（本年度の活動中止）、読み聞かせ（通年）、ミシン指導（通年）、登下校の見守り（通年）、昔の遊び体験などの地域交流（11月）、ようこそ先輩（先輩からの講話 7・9・10・11・12月）、よろしく先輩（職場体験・職場訪問インタビュー中止、地域探検 11月）
【連携・協働している機関】	企業、数学学習支援ボランティア組織、PTA、地区会長・自治公民館長連合会、社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会、高齢者クラブ等
○地域学校協働活動推進員（コーディネーター）	2人
○ボランティア登録者数	262人

2 特色ある取組の紹介

① 「魚の町かどがわ」

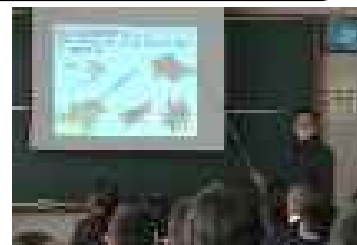


《ここがイチオシ！本部自慢！》

専門家が児童に門川町が魚のまちと言われる由縁を科学的に説明！！

○ 活動内容

- ・小学校からの要請を受け、宮崎大学農学部海洋生物環境学科准教授で「門川の魚図鑑」の著者でもある村瀬敦宣先生と「門川の魚かるた」を製作した学生さんに、講話をしていただいた。
- ・門川小学校の3年生と五十鈴小学校の4年生が、門川町が魚のまちと言われる由縁を図鑑やかるた等を使って学んだ。



【講話の様子】

○ 事業を実施して

- ・門川の海は暖かい海流と冷たい海流が交わる所だから魚がよく獲れるのだと分かりました。魚ががいつまでも獲れるよう、ごみ拾いなど自分にできることをしていきたいです。（児童）
- ・子どもたちが「門川の魚かるた」の読み札を覚えてくれていることに感動しました。試行錯誤して作り上げたかるたなので、涙が出てきそうになるくらい嬉しかったです。（学生）

② 「門川中学校ボランティアクラブ Happiness（ハピネス）」

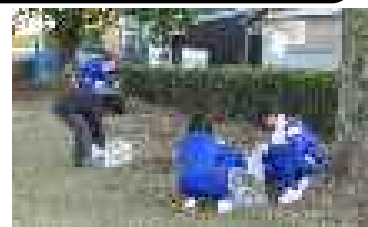


《ここがイチオシ！本部自慢！》

生徒自らが地域に貢献したいと考え、生徒会が中心となり9月に発足しました。

○ 活動内容

- ・コロナ禍でできることとして、全校生徒に協力を呼びかけ町内の高齢者施設の利用者に励ましのメッセージカードを贈りました。
- ・放課後に通学路や町内のゴミ拾いを行いました。
- ・地域からの依頼を受け、公園内の除草した草集めを行いました。



【清掃活動の様子】

○ 事業を実施して（参加者の声）

- ・メッセージ作成をして高齢者の方々が少しでも元気になればいいなと思いました。私も祖父母に会えなくて悲しいですが、早くコロナウイルスが終息してみんなが笑顔で過ごせるようになってほしいです。（生徒）